



JAL不当解雇撤回ニュース

No300号 2013.07.15
 発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
 連絡先:航空労組連絡会事務局
 〒144-0043 大田区羽田5-11-4
 フェニックスビル内
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

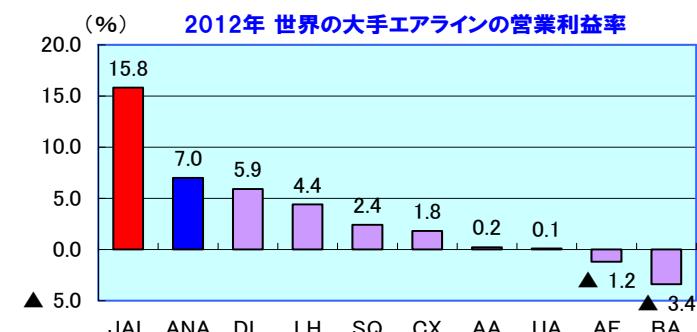
世界でダントツ JALの財務体質

トップクラスです JALの営業利益率・額

JAL、ANA グループの 2012 年度決算。ANA は 1038 億円で 2 年連続して史上最高。JAL は史上最高だった昨年に匹敵する史上 2 位の 1,952 億円の営業利益を確保。なんと、その額は ANA の約 2 倍です。

ANA は JAL を見て「突如と蘇ったライバル会社にはとても手が届かない」と言っています。

JAL の業績は世界の航空会社の中でどのような位置にあるでしょうか? 世界の大手エアラインと比較してみると、利益額も利益率も世界のトップでした。



(営業利益/売上高) × 100 が営業利益率。JALの利益率の高さはダントツ。それだけ低コストであることを示している。

注:表及び文中の英字 2 文字表示の航空会社名

DL=デルタ航空 (アメリカ)

LH=ルフトハンザドイツ航空

SQ=シンガポール航空

CX=キャセイパシフィック航空 (中国 ホンコン)

AA=アメリカン航空 (アメリカ)

UA=ユナイテッド航空 (アメリカ)

AF=エールフランス

BA=英国航空

経営指標はライバルを圧倒 JAL vs ANA

2012年度 主な経営指標(連結)

【金額: 億円】

項目	JAL	ANA	JAL/ANA
連結営業収入	12,388	14,835	0.84
総資産	12,166	21,372	0.57
資本金	1,813	3,187	0.57
当期純利益	1,716	431	3.98
配当総額	323	140	2.31
有利子負債残高	1,601	8,971	0.18
自己資本比率	46.4%	35.9%	1.29
会計上内部留保*1	1,981	1,506	1.32
実質内部留保額*2	5,357	5,634	0.95
実質内部留保率*3	44.0%	26.4%	1.67
ユニットコスト*4	11.5円	14.0円	0.82

*1:会計上内部留保=利益剰余金

*2:実質内部留保=利益剰余金+資本剰余金+退職給付引当金

*3:実質内部留保率=実質内部留保÷総資産

*4:ユニットコストは2社比較のためANA国内線を大圏距離換算実施

営業利益以外の指標について、主なものを比較してみると、上記の表通り、ほぼ全てで ANA に勝る状況です。

中期計画に対する質疑の中で日航は、10%の営業利益率は「航空業界では高い水準」と述べ、自己資本比率 50%は世界の航空会社の中でどのような位置になるかとの問い合わせに「SQ は 50%以上、LH、QF、CX、ANA は 30%台」と答えます。

不当解雇を撤回し職場に戻せ!

解雇された 165 名の年間の人事費は 14 億 5 千万円。職場復帰させ賃金を払ったとしても、それでも営業利益率世界でダントツは変わりません。

客室乗務員は 1000 名を超える新規採用、パイロットも養成訓練が始まります。客乗職もパイロットも人員不足。とりわけ新人が多数入った客乗では、ベテランが不足し新人の多数乗務が日常化しています。

労働者に犠牲を強い、安全とサービスをも切り下げる利益。こうした露骨な利益第一主義は許されません。

安全とサービスの品質を維持するために、不当解雇を撤回し、解雇したベテランを直ちに職場に戻すべきです。